

佳作 大好き。おじいちゃん、おばあちゃんありがとう、日本



プトリ アユ デワンティ
PUTRI AYU DEWANTI
国 籍 インドネシア
職 種 介護
実習実施者 社会福祉法人三本松福社会
監 理 団 体 協同組合クロアバー

皆さん初めまして。私はインドネシアから技能実習生として来日したプトリと申します。現在、日本の高齢者施設で介護士として働いています。介護の仕事を皆さんに知っていただきたくて、私の業務や心掛けている事を紹介したいと思います。

介護の仕事は心身ともにケアし、高齢者の生活をサポートします。朝の整容に始まり、食事のお世話、トイレ誘導、オムツ交換、入浴介助や着替えなど様々な行為があります。また、心のケアも大切です。特に今はコロナの影響で家族との面会ができず、入所者も家族も不安でいっぱいだと思います。その不安を少しでも安心に変わるように私の勤める施設では毎月、介護職が家族へ施設での様子をお知らせする手紙を書いています。手紙を読んで家族からお礼の手紙をいただいた時はとても嬉しく、やりがいを感じます。最初の頃は日本語も不十分で人間関係も上手くいかず不安でいっぱいでした。

高齢者への対応は気持の理解が大切です。人間は年をとると子供に戻ると言います。高齢者の気持を考えて少しでも寄り添えるようにしたいと思います。時に高齢

者からの心ない言葉に傷つくこともあります。そんな時は「仕事に行きたくないなあ」と思う事もありますが、入所者の笑顔に満ちた挨拶で迎えてもらったり「ありがとうね。」とか、帰りには「気をつけて帰りなさいよ。」と言われると、私の心は春色になります。入所者のために、何ができるのか、どうすれば穏やかな毎日を過ごすためのお手伝いができるのかを考えて仕事をしています。たとえば、大好きな花のことや、前に飼っていたペットの話、また昔の歌を教えてもらったり施設のクラブ活動で入所者にインドネシアの歌やインドネシア式じゃんけんをして心の交流をしています。クラブ活動の日は私達、実習生も母国の事を知ってもらえて嬉しいですし、何よりも入所者のすてきな笑顔に包まれて心から「これは何んて楽しく、やりがいのある仕事なんだろう」と思います。私は12月に実習期間が終るとインドネシアに帰りますが、日本で経験した仕事はもちろん、日本文化や日本人のまじめに仕事に取り組む姿勢を見習い細やかな心くばりを両親をはじめ、母国の若いインドネシアの後輩に伝えてゆきたいと思います。

日本に来て、介護の仕事に巡り合えた事を感謝し、一生の宝物にしたいと思います。